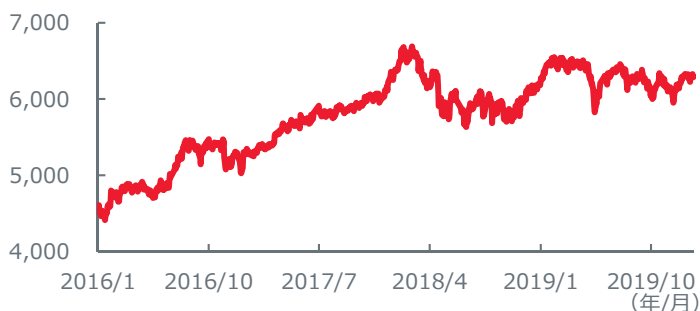


(対象期間：2020/1/13～2020/1/17)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2020年1月17日)**
(ポイント)

【株式市場】

インドネシア株式市場は上昇しました。通貨ルピアが堅調に推移していることなどを背景に、今月23日の政策決定会合での利下げ期待の高まりなどから、週初は銀行株や不動産株などが堅調となり上昇しました。週の半ばには、外国人投資家からの利益確定売りに押され下落する局面も見られましたが、その後は、週末にかけて一進一退の動きとなりました。セクター別では、基礎産業・石油化学、金融などが上昇した一方で、農業、インフラ・公益などは下落しました。

2020/1/10	2020/1/17	変化率
6,274.94	6,291.66	+0.27%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年1月17日)**

【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。週初から外国人投資家からの資金流入が見られ、利回りは低下傾向となりました。14日に行われた今年初のイスラム国債の応募額は史上最高となり、国内投資家からの強い需要が確認されました。週の半ばには利益確定売りで一時利回りは上昇しましたが、貿易統計における貿易収支の赤字幅が市場予想を大幅に下回ったことが好感され、ルピアが堅調となったことなどを背景に、週末にかけてさらに利回りは低下しました。

2020/1/10	2020/1/17	変化幅
6.926	6.836	-0.090

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年1月17日)**

【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。インドネシア中央銀行（BI）が通貨高を容認していることや、米中通商問題の懸念後退を背景とした米ドル安から、ルピアは堅調となりました。また、アラブ首長国連邦がインドネシアインフラやエネルギープロジェクトの資金調達を支援するために、約230億米ドルの投資を表明したことも好感されました。

2020/1/10	2020/1/17	変化率
0.7972	0.8062	+1.13%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。